

出張報告届

令和7年 5 月 26 日

吹田市議会議長様

会派名 自民党吹田・無所属の会

代表者氏名 白石 透

出張者氏名 白石 透

下記のとおり出張したので届け出ます。

記



出張先	大阪グリーン会館（大阪市北区）
期間	令和7年 5月 21日から 5月 21日まで 1日間
出張の成果	別紙のとおり
備考	地方自治・住民自治を学ぶ議員研修会 テーマ：揺らぐ地方自治と新たな住民自治の仕組みづくり

揺らぐ地方自治と新たな住民自治の仕組みづくり

報告書

日程：2025年5月21日（水）

場所：大阪グリーン会館 2階ホール

講師： 柏原 誠 大阪経済大学経済学部准教授

今回のセミナーは私が今までに受講したセミナーとは少し違う形で市議町議の他、地域の自治会関係者などもおられ、またZOOMのオンライン参加者などおられ、講師の講演中でもコメントを入れ、それに対応していくなど（まるで私の小学校の授業の時のようであった）私としては新鮮に感じた。

内容は住民自治の基本的な考え方と仕組み、民主主義に関する現状把握—大阪府内議会の現状と世論状況、気候市民会議を素材にして、住民自治2.0へのアップデートを考えるなどであった。

今回のセミナーはデータに基づく分析などが中心となっていたが、配布資料の大阪府内の首長・議会選挙データは大変細かく分析されていて、投票率、選挙時の所属政党、女性議員数、女性議員比率、な

ど詳細な資料であった。

データのまとめでは

- ・代表民主主義が「機能していない」と見る人は約半数、40代、50代、60代では半数を超える、一方「機能している」とした人は2割
- ・機能していないと考える理由は、政治家の応答性、低投票率、課題解決能力、タレント・世襲化、政党ガバナンスの不在の5つ
- ・自分の意見を代弁している政党が有る人は2割以下
- ・課題解決を政治家に期待していない人が7割超
- ・望ましい選挙制度は「民意の反映」>「民意の集約」
- ・民主主義を好ましいとする人は増加

とまとめられている。

セミナー受講後の感想であるが、各自治体には財政や議会構成、その地域の特性などの様々な要因によるところも影響するが、より多くの住民の住みやすさ、いわゆる住民満足度の向上に重きを置いて住民代表として仕事をする事だと、改めて感じた。

セミナーのデータなどを改めて見ることによって、1つの事象について市民目線からは色んな角度から見ておられ、会派、個人など各様の考え方、意見が存在することを考えさせられた。

今後の吹田市政にとっても、あらゆる方向からの意見も耳に入れながら最善の施策を施していけるように仕事を進めていきたい。